

2019年12月5日

各 位

全固体電池向け固体電解質の量産試験用設備の導入決定

～年間数十tの生産設備で全固体電池実用化にむけた検証を開始～

当社（社長：西田計治）は、全固体電池向け固体電解質の量産試験用設備を導入することを決定しましたのでお知らせいたします。

当社が開発した固体電解質は、2016年11月24日のプレスリリースのとおり、電解液と同等水準のリチウムイオン伝導性を有し、かつ電気化学的に安定である「アルジロダイト型硫化物固体電解質」であることを特徴としており、プレスリリース以降も、高エネルギー密度、急速充放電、高耐久等の性能を有する全固体電池の実証に向けて、お客様と協働を進めて参りました。

この度、当社固体電解質を使用した全固体電池において、協働しているマクセル株式会社から小型機器向けにサンプル出荷が開始されたこと、電気自動車向けにも2020年以降の採用に向けお客様での評価が順調に進んでいることから、本格量産時を見据えた設備を導入し、量産シミュレーションが必要と判断しました。

当社は、埼玉県上尾市の研究所敷地内に新たに建屋を建設し、生産設備を随時導入いたします。2020年12月に完工予定、同月より稼働開始を予定しており、需要に応じて年間数十tの生産能力まで引き上げる計画です。

当社は、「マテリアルの知恵を活かす」というスローガンのもと、より安全で高エネルギー密度が期待される分野での商品化を目指すとともに、高性能な全固体電池の実現によって、ゼロ・エミッションを通じて地球環境の保全に貢献していく所存です。

【量産試験棟の概要】

設置場所：機能材料研究所（埼玉県上尾市原市1333-2）

以 上

【お問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 広報部 TEL 03-5437-8028 Eメール PR@mitsui-kinzoku.com

(ご参考)



写真 開発したアルジロダイト型硫化物固体電解質